

浦和区自治会連合会

平成30年度 自治会役員研修会 報告書

- 1 日 時 平成30年10月23日（火）・24日（水）
1泊2日小湊鯛の浦温泉「鴨川ホテル三日月」
- 2 研修地 花見川終末処理場(千葉県千葉市)〈下水処理研修〉
館山海軍航空隊赤山地下壕跡(千葉県館山市)〈ガイド付き研修〉
- 3 参加者 浦和区自治会連合会 会長 藤枝陽子
(会長・役員21名)
浦和区役所 浦和区長 山岸千枝子
浦和区コミュニティ課長 荒木美穂
(合計23名)

4 研修概要

第1日 23日（火）

午前8時30分浦和区役所を出発。藤枝会長から参加のお礼と、2日間楽しく研修しましょうとの挨拶がありました。

※午前

花見川終末処理場

施設管理部の藤原技師の案内で、最初にDVDを視聴し、下水道のしくみを学びました。現在では、川の自浄作用で微生物が処理しきれなくなった汚水は、専用の下水道管で、幹線や中継ポンプ場を経て処理施設に集められます。まず、大きなゴミ等を取り除き沈殿させた汚泥を、多量の活性化した微生物が入ったドロ（活性汚泥）と混ぜ、空気を送りこみかきまぜ、沈みやすい固まりにします。沈殿した汚泥は、さらに脱水機にかけて体積を減らし、焼却され減量化していきます。一方、処理した水は、水質を確認後、川へ放流されます。以上が概要ですが、その後の質疑や説明で、流域の成田から幕張までは9時間かけて流れてくること、雨水は下水とは別に雨水管により川に直接放流していること、千葉では下水は7割普及していること等を教えていただきました。その他にも下水道の多目的活用を図る事業として、高度処理した再生水をトイレ用水や散水に利用したり、下水処理水の特性を活かし冷暖房を地域に供給したり、水質の悪化や水量の減少が心配される川への還元放流、処理施設の上部を有効利用した広場の設置など、水資源の再利用に努めているそうです。我々も、下水道の使用にあたり、洗剤の使い過ぎ、溶けない紙をトイレに流さない等、心がけていきたいと思いました。その後予定していた施設見学は、あいにくの雨天の為、出来ませんでした。有意義なお話を聞くことができました。

※午後

濃溝の滝、仁右衛門島を見学し「鴨川ホテル三日月」に宿泊しました。

第2日 24日(水)

※午前

館山海軍航空隊赤山地下壕跡

合計した長さが約1.6kmの大きな壕で、館山市を代表する戦争遺跡です。ガイドの中屋さんに、見学コースを案内していただきました。館山は東京湾の入口に位置し、幕末から終戦まで、東京を守るための重要な場所として、要塞や館山海軍航空隊の基地など、さまざまな軍事施設がつくられました。地下壕がつけられた時期は、資料が乏しくはっきりしませんが、空襲が激しくなる昭和19年以降から終戦の日まで建設工事が行われていた証言もあり未完成であることは確かです。壕内に発電所跡や、薬品庫、病室、事務室として使われた証言もあることから、館山海軍航空隊の防空壕として使用されたと思われます。館山は、やわらかい地層が重なり形成されているので、当時、主に中学生が作業したそうですが、つるはしの跡もそのまま、地層や断層も見ることが出来るので、歴史だけではなく、土地のおいたちも知ることが出来る貴重な史跡となっています。

※午後

崖観音を見学し、帰途につきました。

ご多忙中のところご参加下さいました会長・役員の皆様、浦和区役所の皆様、誠にありがとうございました。

平成30年11月13日 浦和区自治会連合会 会長 藤枝陽子